

千葉日報社長賞

いまむら てつろう

今村 哲郎

思えばいろいろ苦勞をかけました。

知り合いの誰もいない街での新婚生活。

それでも仕事を言い訳にして、いつも午前様でした。

貴女は何も文句を言わず、酔いつぶれた私を介抱してくれました。

宝石ひとつ買ってやれず、洋服ひとつ買ってやらず、それでも貴女はいつも綺麗な自慢の妻でした。

きっと私を恨んだこともあったでしょう。

ありがとうなんていったこともないけれど、心の中では拝んでいたよ。

貴女は私の宝です。

(東京都八王子市 / 82 歳 / 男性)